

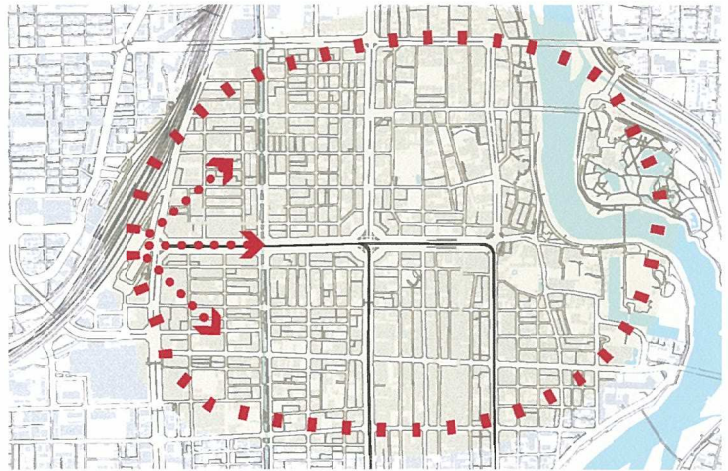
特定テーマ2に対する企画提案

駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

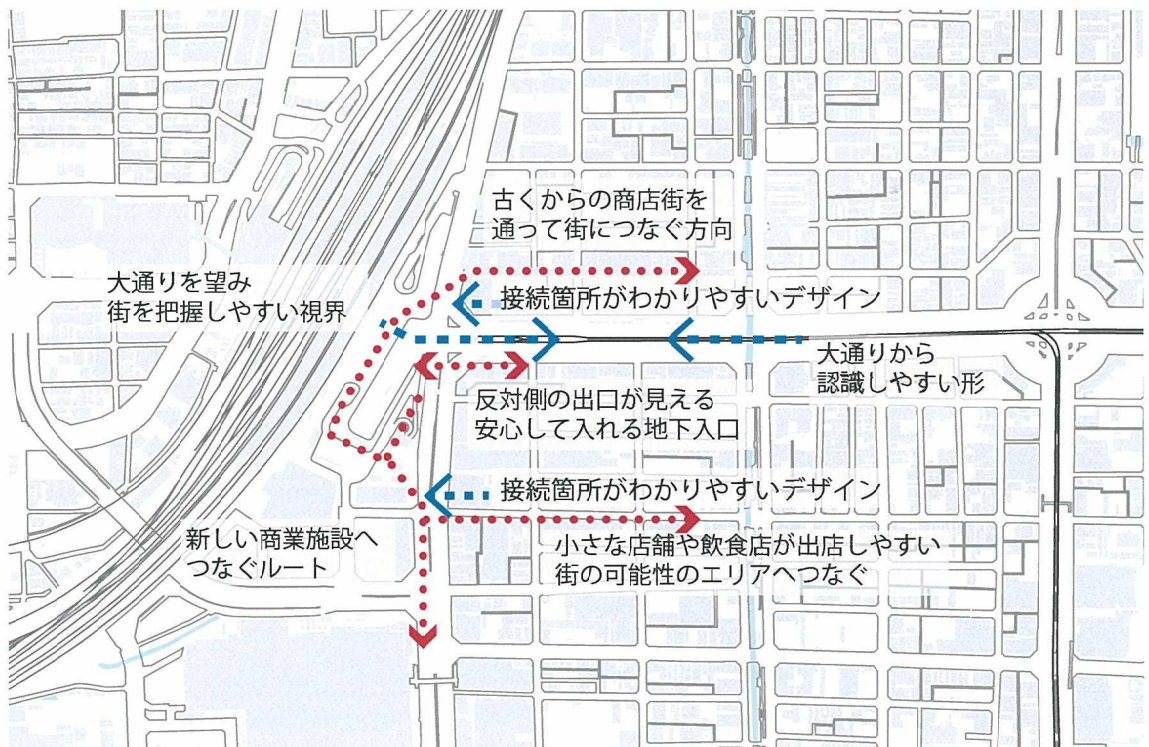
街からのつながりを考える、街への流れを考える、速い流れ、遅い流れ、とどまりをコントロールする、動線と居場所の共存のデザイン。

□街側からも考えて、広場を街へつなぎ人を街へ送り出す様々な仕掛け

駅前広場だけでなく、街全体を視野に入れて、つなぐ場所やつなぎ方を工夫します。駅前広場から出やすく、戻りやすく、視線の広がりや見え方、動きの調整によって、自然な流れで人を街へ送り出します。



駅前広場から街全体への回遊エリアのイメージ



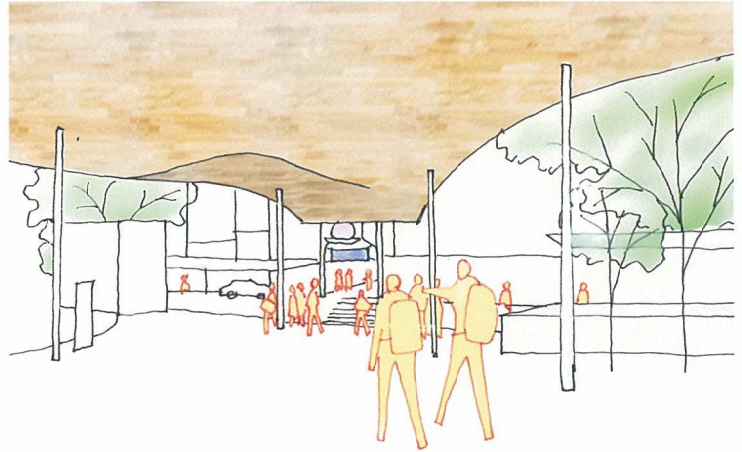
駅前周辺のつながりのイメージ

特定テーマ2に対する企画提案

駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

○ 街の回遊動線をつなぎ、街へ誘導する方向性のある屋根

屋根の流れは、街へ向かう動線に沿って長く引き伸ばされます。駅の出口を出たら、屋根の流れをたどって歩いていけば、自然に街の入り口に繋がっています。屋根の先にある街を指し示すような、街へ誘導するつくりです。



○ 大通りを望み、歴史ある都市軸を顕在化させる広場のつくりと路面のデザイン

駅の正面出口から駅前広場に向かうと、屋根のむくりは桃太郎大通りへ向かって広がり、視界は通りへ向かいます。これから出会う街の構成がひと目でわかるつくりで、街への期待感も高まります。屋根の高い、開けた場所がイベントスペースにもなります。路面には桃太郎大通りへ軸を通した舗装を設え、広場全体を街の一部にすると共に、歴史ある街の構造を強め、表現していきます。



特定テーマ2に対する企画提案

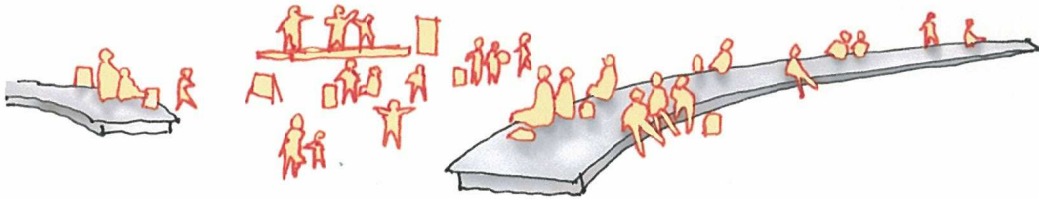
駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

□ ひとの流れと居場所を両立させる広場のデザイン

駅前広場が、異なる交通手段への乗り換えのための適切な「通路」としてだけでなく、行きかうことが楽しい「散歩道」として、滞在したくなる「街の回遊の拠点」として、流れと滞留を適切に、自然にコントロールできるデザインとします。

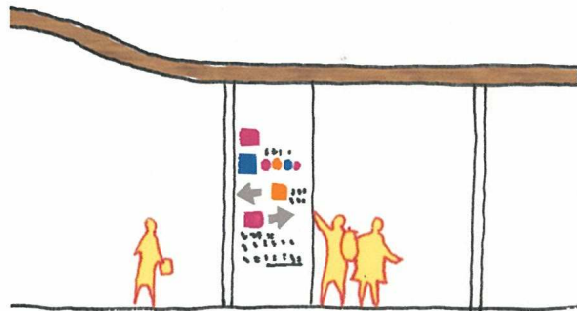
○ ひとの流れと居場所をつくる大きなベンチ

広場の人の流れのガイドラインと、人の居場所を兼ねられる大きなベンチを設けます。一人でも、大勢でも居られて、少しずつ違った向きで座れるベンチです。待ち合わせにも、時間調整にも、休憩にも使える、ゆったりしたつくりとします。



○ だれにも使いやすく、わかりやすい広場と街への案内のデザイン

初めてここを訪れる人にも、障害のある人にも、小さな子供にも、高齢者にも、誰にも安心して使いやすい広場となるよう、通りやすさ、居やすさ、わかりやすさなどバリアフリーに配慮した空間デザインとします。多様な人と交通の流れを整理し、色や絵を使って美しく視覚化する、伝わるサインの計画とします。



特定テーマ2に対する企画提案

駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

岡山の島々や小山を思わせる屋根のふくらみが
駅前に印象的な風景をつくります

桃太郎大通りに向かって大きなふくらみが開くことで
まちへの見通しが良くなります



天井の高い大きなふくらみの下にある
イベント等を行える広めのスペース

どこからも見やすい公共交通案内所

岡山駅東口より桃太郎大通りを望むイメージ

特定テーマ2に対する企画提案

駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

大きな屋根開口により、光と風が通る場所となります

やわらかな木漏れ日を作る岡山の特産品であるぶどうの棚がイメージを印象づけます

やわらかで岡山らしい印象をつくる木仕上げの天井が居場所をつなげます



大きなベンチが人の流れと居場所をつくれます

ぶどう棚の広場のイメージ